

にしおの

西尾で夢の続きを
野球指導者・中村豪

おっ!



甲子園——全国の高校球児の聖地であり、憧れの場所。今も多くの高校球児が甲子園の舞台を夢見て、練習に明け暮れています。吉良町に住む中村豪さんは、かつて愛知工業大学名電高校を率いて甲子園に5度出場。メジャーリーグ、シアトル・マリナーズのイチロー選手やソフトバンクホークスの工藤公康監督、中日ドラゴンズの山崎武司さんなど、数々のプロ野球選手を育て上げた名監督です。

西尾市出身の教え子も多く、プロ野球界以外にも、さまざまな分野で活躍しているそうです。そんな中村さんは現在、吉良高校野球部で指導を続けています。中村さんもかつては野球少年。小学生の頃、体を丈夫にしたいと始めた野球に夢中になり、高校、大学、社会人とプレー。投手・一塁手として活躍しました。「野球は友達のようなもの」と中村さん。社会人になり、いつか高校野球の監督をと思っていたところ、母校の名古屋電気高校（現愛知工業大学名電高校）から誘いを受け、野球部監督に就任します。練習はうそをつかないと、徹底的な反復練習を課しつつも、好きな言葉「人の行く裏に道あり花の山」のように、人と同じことをやるだけでなく、固定観念にとらわれず、個性を生かす指導を心掛けます。その結果、甲子園に

豊田大谷高校在籍時、生徒を指導する中村さん



は春2回、夏3回出場。中でも昭和56年は、エース工藤を擁し、ベスト4の好成績を収めます。教え子からは14人がドラフトで指名され、プロ野球選手に。指名された時は、自分のことのように喜んだそうです。OB選手とは今でも交流があり、家族のような関係。毎年1月に自宅に集まり、思い出話に花を咲かせています。イチロー選手も来たことがあるそうです。定年後、ゆっくりしたいと祖母の出身地吉良町に移り住みます。そこで当時の吉良町長から熱心な誘いを受け、吉良高校野球部のアドバイザーに就任。再び生徒の指導が始まります。「技術的なことは監督に任せ、私は基本的に見守っている」。裏方として精神的なサポートに徹しています。ただ、これまでの強豪校と異なる環境に戸惑うことも。体格に恵まれ素質を感じた生徒に「夜に走れ」とアドバイスしたところ、父兄から「夜は危ないから走らせないで欲しい」と言われたこともあるそうです。それでも強豪校の時と変わらぬ愛情を生徒に注ぎます。グラウンドは他の運動部と兼用のため、宮崎海岸の砂浜で練習することもある。「砂浜は良い練習になるけど、西尾市にも野球場が欲しいね。あれば野球人口がもっと増える」。

精力的に活動してきた中村さんも今年で75歳。「吉良町はのんびり

していて、人も温かく過ごしやすい。今では歩いていけると、保育園児から「かんとく」と声を掛けられるよ」とうれしそうに話してくれました。今後の夢を聞くと、やはり野球の話題に。「吉良高校も以前県予選でベスト8までいったもう一度、吉良高校で夢を見たいね。今年はチャンスが増えて、どの高校も狙っているよ...」。

今年の全国高等学校野球選手権（夏の甲子園）は、100回目の記念大会。野球王国愛知県からは東西1校ずつ出場できます。2枚に増えた夢の切符。甲子園を懸けた高校球児の熱い闘いは、間もなく始まりを告げます。（石川泰弘）



profile

中村豪

吉良町在住。吉良高校野球部アドバイザー。昭和17年生まれの75歳。座右の銘は「思強全可」。強い思いが全てを可能にするの意。野球以外の趣味は水彩画で、以前住んでいた春日井市の美術展で入選するほどの腕前

みんなの「アイ(eye:目)」 で守るわがまちを

アイ・アイ・アイパトロール隊



アイ・アイ・アイパトロール隊は、平成20年に住崎町内会長OB会の有志で結成したボランティア団体です。約1200世帯が暮らす住崎地区を、みんなの「アイ(目)」で見守り、安全・安心なまちにしようと自主防犯活動を行っています。

現在隊員は26人。毎週月・木曜日には小学生の下校時に青色防犯パトカーなどでパトロールし、第2・4日曜日には3チームごとに歩いてパトロールしています。また、3か月に1回行う連絡会でパトロール中に気になった事項などをまとめ、後日、市危機管理課や西尾警察署と共有しています。活動を始めてから、地区の犯罪件数が半減したそうで、少しでも貢献できていると思うと誇らしくなります。

昨年、結成10周年を迎えました。隊員同士の食事や会話は和やかな雰囲気です。長く続けるためにも、気楽に、気長に活動していきたいと思っています。

現在、隊員を募集しています。住崎地区に在住で、志を同じくする方なら誰でも大歓迎です。また、他の地区で自主防犯活動を希望する方も、ぜひご相談ください。

岡林 丁目 (☎54・1745 / 住崎五)

このコーナーに登場してくれるサークル・ボランティア団体を募集しています。詳しくは、秘書課広報担当 (☎65・2159) へ。



舟倉 希子ちゃん
(山下町)

平成28年8月生まれ
食欲旺盛元気いっぱい
♪ いつも笑いと癒やしをくれてありがとう。



太田 愛斗くん
(熊味町)

平成28年4月生まれ
いつもステキな笑顔の
愛くん♡これからもお兄ちゃんと仲良くね♡



米津 妃紀ちゃん
(米津町)

平成28年9月生まれ
わが家のアイドル妃紀ちゃん！
毎日たくさん笑顔を見せてネ♡



高田 将煌くん
(吉良町)

平成28年9月生まれ
ぱくぱく食べるまさくん♡
たくさん食べてパパより大きくなあれ☆



鈴木 陽仁くん
(江原町)

平成28年4月生まれ
陽くんの笑顔がみんなの癒やしです。笑顔いっぱい大きく育ってね。



外山 杏ちゃん
(一色町)

平成28年1月生まれ
パワー全開・笑顔満開のやんちゃガール☆
笑いと元気をありがとう。



山崎 瑛太くん
(西幡豆町)

平成28年4月生まれ
瑛太くん、いつも笑顔
をありがとう♡ これからも元気に育ってね。



神取 千晴ちゃん
(つくしが丘一丁目)

平成28年10月生まれ
千晴らしさと思いやりを
忘れず育ててね。いつも
幸せをありがとう。

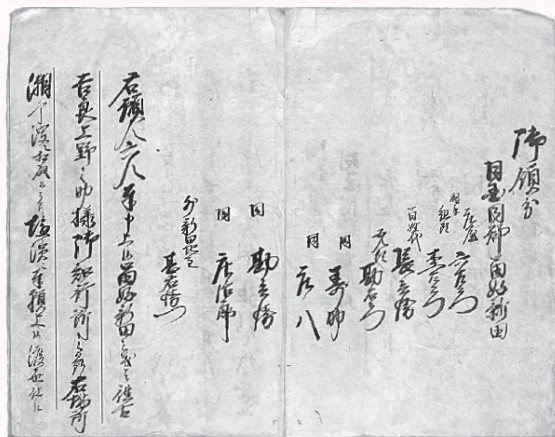
キ
ツ
ズ
ア
ル
バ
ム

西尾市史ニユース 19

吉良家領内に塩田があった

岩瀬文庫学芸員 神尾愛子

市史編さん活動の成果を紹介する『西尾市史研究』を年1冊刊行しています。4月5日発売の最新号では、近世部会の小林輝久彦委員が、吉良町小山田の加藤家に伝わる資料「富好新田一件之写」を紹介しています。内容は、寛政2（1790）年に小山田村・饗庭村・乙川村が、富好新田村との争いの仲裁を領主の松平周防守康福へ訴えたものです。



「吉良上野之助(原文ママ)様御知行所之節...塩浜二奉願上候、渡世仕候…」とあり、吉良家領の3つの村が塩作りを行っていたと記されています。

この資料で注目されるのは、従来2説あった富好新田の開発年が元禄元（1688）年とほぼ確定すること、この場所が新田開発以前は「塩干浜（干潟）」であり、隣接する小山田村・饗庭村・乙川村（当時は高家吉良領）の村人の「塩浜（塩田）」があったと記されていることです。

いわゆる「忠臣蔵」の物語では、元禄14（1700）年の江戸城松の廊下（1）年の江戸城松の廊下の確執があったといわれています。しかし、これは後世の創作であり、また、これまで吉良家領内の塩田の存在を示す資料もありませんでした。本資料は吉良家の領地にも塩田があったことを具体的に示す初の文献となりますが、事件の14年前にこの塩田は「新田畑に開発」されますので、事件とは無関係のようです。

関岩瀬文庫（☎56・2459）

月刊!! スポーツにしお

Vol.37

一般社団法人西尾市スポーツ協会

市内のスポーツ愛好者が種目別に組織した団体が集まって作られた西尾市体育協会は、4月1日から「一般社団法人西尾市スポーツ協会」としてスタートします。

今までは市の委託事業や補助金事業を中心に行ってききましたが、法人化により民間のエネルギーを活用し、スポーツの推進や市民の健康づくりの促進をより一層図っていきます。具体的には、健康寿命を延ばすために、各年代に応じたスポーツ教室を地域ごとで開催します。児童や生徒を対象としたスポーツクラブを組織し、体力や競技力の向上と人間関係の構築にも取り組みます。また、オリンピックなどに出場経験のあるトップアスリートを招き、技術講習会や指導者を養成する講座、全国レベルの競技大会など「やって・見て・育てるイベント」を企画する予定です。

現在、協会には22の競技団体が

加盟しています。さらに多くのスポーツ団体の加盟を促すとともに、協会活動の賛助会員を募集し、市民のスポーツ活動を推進していきます。多くの皆様のご理解とご支援を得て、市民の健康や豊かな生活づくりに役立つスポーツ活動を進めます。



関市スポーツ協会事務局（☎65・00057／総合体育館内）
スポーツ課振興担当（☎54・00002／総合体育館内）

西尾市のデータ

人口

	3月1日現在	前月比
男性	87,098人	-25人
女性	84,913人	-21人
計	172,011人	-46人
世帯数	63,549世帯	-2世帯

交通事故の状況

	人身事故 件数	死傷者 死亡者
2月	67件	83人 0人
30年累計	127件	157人 0人

犯罪発生状況

	刑法犯総数	侵入盗	特殊詐欺
2月	42件	8件	3件
30年累計 (被害総額)	105件	20件	3件 218万3千

消防の状況

	火災	救助	救急
2月	2件	6件	541件
30年累計	6件	7件	1,215件

今月の表紙

見事な桜が咲き誇る、西浅井町の源空院で撮影した一枚です。境内には樹齢250年を超えるといわれるシダレザクラの他、ソメイソシノやシダレウメが大きく育っています。春の陽気に誘われて見頃を迎えると、辺りは鮮やかな桃色に染まり、毎年訪れる多くの参拝客の目を楽しませてくれます。

編集雑記

3ページに掲載した5人家族の写真は、2年前、市役所に入庁して2日目に、初めての取材で訪れた「六万石桜まつり」で撮影したものです。これまで本格的なカメラに触れたことがなく、不安と緊張でいっぱいになりながら撮影したこと、快く撮影させてくれたことが印象に残っています。4月から社会人3年目。失敗を恐れて「やらない・変えない」ではなく、何事にも挑戦し、後輩には先輩らしいかっこいい姿を見せたいなあ。(な)

スクールスマイルショット

School Smile Shot

●寺津小学校

2月15日に、紙芝居読み聞かせの訪問が行われました。参加した6年生は、寺津地区に伝わる「刈宿の閻魔さま」「赤じぞうさま」などの話の読み聞かせを、地域のお年寄りに心を込めて披露しました。



●平坂小学校

2月23日、授業や部活動などでお世話になった方を招いて感謝の会が行われました。手紙の贈呈や、琴と手品のクラブ発表を行い、最後は全校で「矢作川賛歌」を合唱。日頃の感謝の気持ちを届けました。



●一色東部小学校

2月28日、思い出集会が開催されました。1〜5年生が、6年生を前に感謝のメッセージを送り、歌やダンス、演奏などを披露。卒業を控えた6年生との最後の思い出となりました。



【西尾市役所】

URL (パソコン) <http://www.city.nishio.aichi.jp/>
(携帯電話) <http://www.city.nishio.aichi.jp/mob/>

E-mail nishio@city.nishio.lg.jp

■本 庁 ☎0563・56・2111 (代表)
〒445-8501 西尾市寄住町下田22

■一色支所 ☎0563・72・7111 (代表)
〒444-0492 西尾市一色町一色東前新田8

■吉良支所 ☎0563・32・1111 (代表)
〒444-0596 西尾市吉良町荻原川畑20

■幡豆支所 ☎0563・62・5511 (代表)
〒444-0798 西尾市西幡豆町仲田14-2



バーコード対応の携帯電話などで読み取ると「モバイル@西尾市役所」が閲覧できます。